

CLOSE
UP!



「商売が必ず上手くいくという保証は誰にもないし、どこにもありません。ただ、上手くいく確率を上げるために、自ら早く動き出すことはできる——」

対談記事 ▶▶ 038_p



GOTO ハウジング 後藤土地家屋調査士事務所 / 株式会社 後藤測量事務所

代表 /
土地家屋調査士

後藤 恭平

G u i d e l i n e s f o r b u s i n e s s

夜間大学で勉学に励み、測量会社・不動産会社で実務経験を積んだ GOTO ハウジングの後藤代表。母子家庭に育ち、幼い頃から「働くこと」や「商売とは何か」を自分なりに考えた結果として選んだのが、大学卒業と同時に独立することだった。その裏にあるのは、成功を収めるというよりはむしろ、後藤氏自身が思い描く「理想の後藤恭平でありたい」というシンプルな願い。時に理屈ではなく目には見えない強い決意が幾多の苦難を乗り越える原動力になる——事業と並行して、市議会議員としても活動する氏の歩みから、学ぶことは多い。

関わる皆様のために—— 代表の熱き思いが事業を動かす



GOTOハウジング

後藤土地家屋調査士事務所 /
株式会社 後藤測量事務所

〒 564-0071 大阪府吹田市西の庄町 2-28
TEL 06-6380-8802
06-6380-8847 (土地家屋調査士事務所・測量事務所)
FAX 06-6310-8919
URL <http://www.goto-housing.com>
<http://www.goto-kyohei.net>

Company data

代表 / 土地家屋調査士 後藤 恭平

大学在学中から測量会社・不動産会社で実務経験を積み、2004年にGOTOハウジングを創業。2008年には後藤土地家屋調査士事務所、(株)後藤測量事務所を設立し、「お客様の財産を守る」をモットーに掲げて事業を展開している。吹田市議会議員としても活動中。

Personal data



今岡 まずは後藤代表の歩みから伺っていききたいと思います。

後藤 私は母子家庭で育ち、母が必死で働いてくれたおかげで生活できていたので、子どもながらに「早く独立を」と考えていて。大学も夜間部に通いながら、昼は測量会社で3年、不動産会社で1年の実務経験を積み、卒業後すぐ「GOTOハウジング」を設立したんです。

今岡 それは思い切った選択でしたね。

後藤 ええ。実務経験があったと言っても、当時は業界の基礎的なことしか分らなかったです。ただその基本ができていれば、応用力でカバーできると思いました。それよりも早く独立し、若いうちにどんどん失敗したかった。「失敗は成功のもと」と言いますし、ある程度年齢を重ねてから失敗するのは嫌でした。

今岡 実績や人脈もほとんどない状態からのスタートだったのですか？

後藤 はい。ですから、昼は地元のお宅を訪問して営業活動、夜はホテルでアルバイトという生活を1年ほど続けました。いざ仕事を頂けた時は、まずお客様に信頼して頂くことが大事だと考え、お金を頂戴せずに作業をしていたことも。するとある時期を境に、お客様のほうからご依頼を頂けるようになりました。

今岡 「損して得取れ」とはよく言いま

すが、そうした地道な姿勢は、自然と実を結ぶものだと思います。

後藤 そうかもしれません。独立してすぐに軌道に乗ることなんてそうあるものではない。時には理屈抜きに「精神論」だけで突き進むことも、何かを継続するには大事かと思います。私も最初の1年は毎日がものすごくしんどかったのですが、それを乗り越えられた原動力は、根拠のない信念だったのかもしれません。今岡 それはあると思います。後藤代表の場合、その原動力は何でしたか？

後藤 独立当初は、結婚していたことや自分の育った環境を踏まえ、「家族を幸せにしたい」という思い。それに加えて、「世の中やお客様、その他関わる人全てのために」との思いが私を突き動かしたのかもしれません。ただこれらは、独立

していなければ気づくことができませんでした。仕事は私1人では絶対に成し得ないものです。地域や社会、お客様に、私は生かされていると思っています。

今岡 それが後藤代表の導き出した「働く意義」でもあるのでしょうか。

後藤 ええ。私にとって職業は「手段」であり、大切なのは自分がどう生きていきたいか、目的や理想をしっかりとイメージすること。それを実現するために職種にこだわらず仕事を選んでいくというスタンスなので、今後も事業の幅が広がっていくのかなと。私は現在、会社経営と並行して吹田市議会議員としての活動も行っています。「子どもたちが夢を持って生きていける社会」を作りたいですね。やりたいことは山ほどありますから、立ち止まる暇はありませんよ！

Guest Comment 今岡 誠(野球評論家)

現役時代の厳しい練習は、何より「野球が好き」という気持ちがあったからこそ乗り越えられました。後藤代表も働く意義や生きる意味を真剣に考え、確固たる信念や目標を持つことで今では誰からも信頼される存在になられた。今後も、強い精神力で飛躍してくださいね。

